



メッキモール復元 D2-P セット

施工可能台数 6台

取扱説明書

12610335

このたびは、グレイス製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございました。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上正しくお使い下さい。

安全上のご注意：取扱説明書を必ずお読み下さい。

この取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使い頂くようあなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために下記のような『マーク表示』を行っています。その表示と意味は次のようになっております。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が重傷を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

■セット内容

1	12610360	メッキモール復元コート 20cc	1本
2	12610380	メッキモール復元リキッド 100cc	1本
3	* * *	クロムカットディスク 54φ × 2枚	1セット
4	12610420	オレンジディスク 54φ × 5枚	2セット
5	12118325	オレンジシート 80 × 110 5枚	1セット
6	12610480	フェルトディスク 54φ 5枚	1セット
7	12610490	フェルトスチック 40 × 110 5枚	1セット
8	* * *	ウレタンパフ 細目 50φ	2枚
9	12610455	プロテクターテープAL 25mm × 20m	2巻
10	12610458	プロテクターシートSUS 40 × 1000mm 5枚	1セット
11	* * *	コットンパフ 6 × 50	10枚 補充品番



12610415	クロムカットディスク 54φ 4枚入りBox
13241080	ウレタンパフ 50φ × 20T 細目 5枚
24940010	コットンパフ 6 × 50 30枚

■特徴

復元性

シルバー、ブラック、銅、全てのメッキモールで使用できます。

光沢

自然の光沢を蘇らせます。強い光源が当たると、微細な磨き傷が見える事もあります。ご注意ください。

防汚性

汚れにくいこと、そして汚れの落としやすいことにこだわりました。紫外線等での材質変化は起こりにくく、耐熱性、耐酸性に優れ、外的汚れを寄せ付けません。

耐久性

ワックスやポリマーなど従来の有機結合よりも強い無機結合により、緻密で強靱な不活性被膜を形成します。



警告

- 吸入飲食不可 ●全ての液剤は、人体に害がありますので、故意に吸入、点眼したり飲まないで下さい。
- 目に入ると傷害を生じる恐れがあるので十分に注意して下さい。●皮膚の弱い人は、かぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用して下さい。●引火性がありますので、火気に近づけないで下さい。
- 子供の手の届く所に置かないで下さい。



注意

- 用途及び使用方法以外では使用しないで下さい。●製品の特性上、成分が分離したり、容器が変形する場合がありますが、品質上問題はありません、容器をよく振ってからご使用下さい。●火気のある場所では使用しないで下さい。

業務用

本製品をご使用になる前に、以下の販売条件をご承諾のうえご使用下さい。

- 記載のデータなどの技術情報については、当社の規定の試験方法による実験値でありますので正確性と安全性についての絶対的な保証はいたしかねます。ご使用される方は、本製品をご使用になる前に、用途目的にかなっているかどうかを必ずご使用される方ご自身でご判断いただき、それに伴うすべての責任と危険をご負担下さい。保証の範囲は、明らか不良品の交換のみとさせていただきます。●本製品の誤った取扱いによる傷害または損害については責任を負いかねます。●製品の仕様は予告無く変更になる場合があります。



施工前の注意

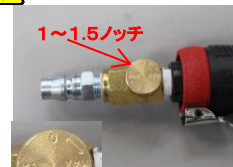
- 本製品は、劣化したメッキモール部を研磨再生するものです。それ以外の用途、部分には施工しないで下さい。
- 本製品には、強い研磨作用がありますので、目立たない所で確認後、安全を確認してから作業して下さい。
- 施工に使用する用具(タオル、スポンジ等)は、常に綺麗な状態を保つ様 頻りに清掃をして、塗装面に傷が入らないように注意して下さい。●砂、ほこり等を避けるため、風の強い日や屋外での作業はなるべく避け、室内の換気の良い場所で作業して下さい。
- モール部を洗浄後、乾燥させ 必ず養生保護して下さい。

用途目的にかなっているかどうかを必ずご使用される方ご自身でご判断いただき、それに伴う全ての責任と危険をご負担下さい。保証の範囲は、明らか不良品の交換のみとさせていただきます。

劣化被膜を除去すると、隠れていた深い傷や、深層部のシミ等が目立つ様になる事があります。お客様に、必ず説明し、了承確認後、作業して下さい。



施工時の注意 (クロムカットディスク使用時)



回転調整

0~MAXまで、4ノッチ構造です。一次エア一圧0.7Mpa時、1~1.5ノッチで作業して下さい。



押付け厳禁 エッジ部注意

回転数が高すぎると、エッジ部に損傷。押付けが強いと地肌が出る事がある。注意



ピンホール注意

作業時にピンホールが見えた場合 深追いせずに研磨作業を中断して下さい。ピンホールは地肌まで到達している可能性がありますので、深追いしないで下さい。

■メッキモール復元リキッド 100g

名称	メッキモール用研磨剤
用途	メッキモール劣化部除去
成分	ファインセラミック



警告



飲込むと有害のおそれ(経口)
皮膚に付着すると有害のおそれ(経皮)
飲込み、気道に侵入すると有害のおそれ

取扱上の注意

- 使用前に取扱説明書を良く読み、すべての安全注意を理解するまで、取扱わないで下さい。●材質により変色や腐食する恐れがありますので、用途及び使用方法以外では使用しないで下さい。
- 吸入飲食不可 人体に害がありますので、吸入したり飲んだりしないで下さい。●皮膚に損傷 皮膚に損傷を与える恐れがありますので、ゴム手袋、ゴム製保護衣を必ず着用して下さい。●防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、工具を使用して下さい。静電気放電や火花による引火を防止して下さい。

応急処置

- 吸入して気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し速やかに通気の良い所で安静にして下さい。気分が回復しない場合は、本品持参の上、医師の診断を受けて下さい。●飲込んだ場合は、吐き出さず、速やかに医師の診断を受けて下さい。●眼に入った場合は、こすらずに、すぐに15分間以上流水でまぶたの裏まで洗い、本品持参の上、速やかに医師の診断を受けて下さい。コンタクトレンズを着用している場合は、固着していないかぎり、取除いて洗眼し続け、速やかに医師の診断を受けて下さい。●皮膚に付着した場合は、布等で素早く拭取り、石鹸等で十分に洗い流して下さい。●暴露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡して下さい。●火災の場合には適切な消火方法をとって下さい。●衣服にかかった場合には、シミになる恐れがありますので、速やかに洗浄して下さい。

保管及び破棄方法

- 涼しい所、換気の良い場所で、施錠して保管して下さい。
- 子供の手の届く所や、飲食物のそばなどには置かないで下さい。
- 保管時には必ず密閉し、直射日光の当たる場所凍結の恐れのある所、40℃以上になる所や水、湿気の高い場所には置かないで下さい。●破棄の際は、内容物や容器を都道府県の許可をうけた専門の廃棄物処理業者に業務委託して下さい。



危険



飲込むと有害のおそれ(経口)
皮膚に付着すると有害のおそれ(経皮)
飲込み、気道に侵入すると有害のおそれ

引火性注意

取扱注意 別途記載
応急処置 別途記載

表示者 習志野エンジニアリング株
千葉市美浜区幕張西6-25-1
043-297-4071
www.narashino-eng.co.jp

●メッキモール復元 D2セット 施工手順

■水滴、風、異物混入を防ぐため、屋内で作業して下さい。止むを得ず屋外で作業する場合、雨や風の強い日は、仕上がりに悪影響を及ぼしますので、相当の対策を講じて下さい。

表示者

習志野エンジニアリング株式会社
千葉市美浜区幕張西6-25-1
043-297-4071

1 施工可否確認



●目立たない部分で、クロムカットディスクを手作業で試し研磨して、下地が出ず施工可能かを判断して下さい。●モールの材質により、施工出来ない場合があります。

2 マスキング



●プロテクターテープALとプロテクターシートSUSにて養生して下さい。
●プロテクターシートSUSの取扱には、必ず保護手袋を着用して下さい。指を切る恐れあり。

3 初期研磨 (空研ぎ)



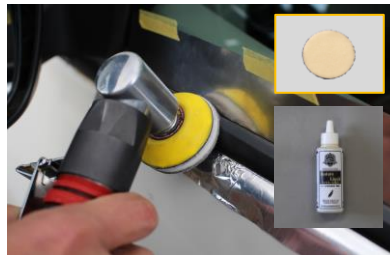
●クロムカットディスクをポリシャーにセットして、空研ぎ研磨して下さい。●面圧を掛けず(押し付けない)軽く表面を均一に移動させて下さい)●回転数は、低回転をお勧め致します。1~1.5ノッチ

4 研磨 II



●初期研磨の表面をオレンジディスクにて再研磨します。●モールに復活キッドを均一に塗り延ばし研磨して下さい。

5 研磨 III



●再度、フェルトディスクにて表面を整えます。
●モールに復活キッドを均一に延ばし研磨して下さい。●必要に応じウレタンパフで再調整して下さい。

6 手作業 初期研磨(空研ぎ)



●ドアミラー下部等、ポリシャーの使えない箇所は、手作業となります。クロムカットディスクで空研ぎ研磨して下さい。

7 手作業 研磨 II



●初期研磨の表面をオレンジスティックにて再研磨します。●モールに復活キッドを均一に塗り延ばし手作業研磨して下さい。

8 手作業 研磨 III



●初期研磨の表面をフェルトスティックにて再研磨します。●モールに復活キッドを均一に塗り延ばし手作業研磨して下さい。

7 コーティング I (コート塗布)



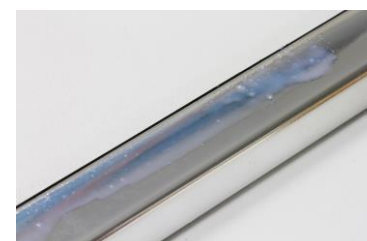
●残液剤を拭き取り、固く絞ったタオルで拭き上げ。
●メッキモール復元コートの蓋を開け、コットンパフを添え、ボトルを上下しコート剤を少量含ませ均一に塗り延ばして下さい。

8 コーティング II (ウエット拭き)



●マイクロファイバークロス等を固く絞り、拭き上げて下さい。(塗布から3~5分後)
●拭き上げ忘れに十分注意して下さい。
●拭き上げ後、自然乾燥させて下さい。

塗布時の注意



●液剤が多すぎると、白ムラの状態では透明状に硬化してしまいます。逆に液量が少ないと干渉膜が生じます。特に黒メッキモールは干渉膜に注意。
★仕上を左右する重要なポイントです

塗布後の注意



●指触乾燥後の走行は可能ですが、施工後2時間は触れたり水を掛けしないで下さい。●完全硬化までは24時間掛かります、水が掛かった場合は速やかに水滴を拭き取って下さい。作業終了です。